SDGsへの取組み

SDGsへの取組み

当行は、2020年5月にSDGsの趣旨に賛同し、その達成に貢献すべく、「〈だいとう〉SDGs宣言」を制定しました。地域社会の課題解決に資する取組みをより一層推進し、地域社会の持続的成長に貢献してまいります。

経営理念　「共創力と提案力で地域の豊かな未来を実現する」

重点施策

地域の成長市場の創出・活性化のための支援活動

- 事業承継、M&Aの推進
- 創業支援への取組み
- 事業再生支援への取組み
- 課題解決に向けたコンサルティング支援への取組み
- 台風19号、新型コロナウイルス対策への支援

人材活躍の推進活動

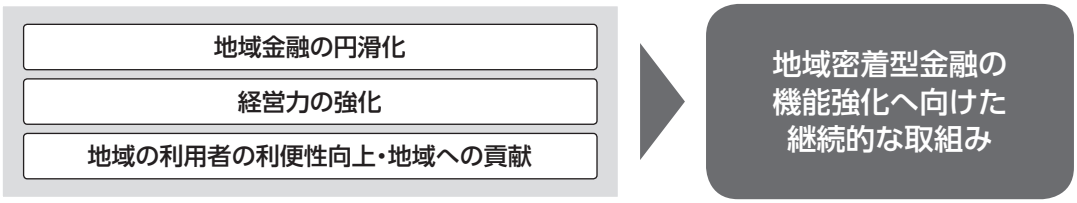
- 若手活躍への取組み
- 女性活躍への取組み
- シニア人材活躍への取組み
- 健康増進への取組み

SDGs 目標達成　SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

地域の成長市場の創出・活性化のための支援活動

■ 中小企業（小規模事業者を含む。）の経営支援に関する取組み方針

当行は、「共創力と提案力で地域の豊かな未来を実現する」という経営理念のもと、永年にわたり地域のお取引先さまと培った信頼を基本として、経営課題の解決策を真剣に考え、提案し、共に新たな事業価値を創造（共創）することにより、地域の復興、活性化へ貢献するとともに、実のあるサービス提供を通じてより良い未来や幸福の実現を目指してまいります。



■ 中小企業の経営支援に関する態勢整備の状況

中小企業や個人事業主の皆さまに対して企業の技術力や将来性を重視した事業性評価による資金供給のほか、販路拡大等のさまざまなニーズにお応えできるよう、各関係機関と連携し組織的なソリューションの提供に努めております。

■ 中小企業の経営支援に関する取組み状況

当行では、中小企業のお客さまからの経営に関するご相談、お申込みに対して、事業の特性やライフステージに応じてさまざまなソリューションの提供に取り組んでおります。

●中小企業の経営支援全般に関するベンチマーク

ベンチマーク	項目	実績（2021/3末）
当行がメインバンクとなっているお取引先数及びご融資残高	メイン先数	1,914先
	メイン先の融資残高	974億円

（※）メイン先とは、お取引先の事業年度末において当行が融資残高1位の先で、先数はグループベースで計上（個人事業者向け貸出は含まない）

■ お取引先のライフステージ別与信先数及び融資残高

(2021/3末)	全与信先	創業期	成長期	安定期	低迷期	再生期
与信先数	6,718先	293先	177先	1,833先	114先	1,705先
融資残高	3,423億円	205億円	111億円	1,032億円	52億円	514億円

(※1) 創業期…創業、第二創業から5年までの先
成長期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%超の先
安定期…売上高平均で直近2期が過去5期の120%～80%の先
低迷期…売上高平均で直近2期が過去5期の80%未満の先
再生期…貸付条件の変更又は延滞先
(※2) 財務データが不明な先はいずれのライフステージにも分類していないため、ライフステージ合計数と全与信先数は不一致
(※3) 先数は単体ベースで計上

●創業・新規事業開拓のご支援に関するベンチマーク

ベンチマーク	項目	実績（2020年度）
創業支援先数	創業計画策定をご支援した先	1先
	創業期のお取引先へのご融資(プロパー)	22先
	創業期のお取引先へのご融資(信用保証付)	191先
	助成金手続きのご支援又は投資を行ったベンチャー企業	0先

(※) 創業後5年以内のお取引先を計上

●成長段階におけるご支援

成長段階におけるご支援につきましては、お取引先の新たなビジネスチャンスを広げるため、ビジネスマッチングなど各種ソリューションメニューをご提供しております。

ベンチマーク	実績（2019年度）		実績（2020年度）	
	福島県	県外	福島県	県外
販路開拓支援を行った先数	7先	7先	3先	6先

(※) ビジネスマッチング、商談会・ビジネスマッチングフェア、個別紹介で成約になったお取引先数

●事業再生・事業転換等へのご支援

事業再生・業種転換等のご支援につきましては、外部専門機関と連携し、M&Aや事業承継支援等を実施しております。

ベンチマーク	実績（2019年度）	実績（2020年度）
M&A支援先数	65先	60先
事業承継支援先数	78先	65先

(※1) M&A提案又はアドバイザリー契約を締結したお取引先数
(※2) 自社株評価の実施、株式承継に関する一切の対策支援(会社分割や会社新設を含む)、事業引継ぎ相談窓口等の事業承継に関する外部専門家の紹介、後継者への経営者保証に関するガイドライン活用を行ったお取引先数

■ 経営者保証に関するガイドラインへの取組み

当行は「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を踏まえ、不動産担保・個人保証に依存しない融資への取組みを行っております。

●「経営者保証に関するガイドライン」の活用実績

ベンチマーク	実績（2019年度）	実績（2020年度）
ガイドライン活用先数	805先	1,207先

(※) 経営者保証に関するガイドラインとは、中小企業の経営者の皆さまが金融機関に差し入れている個人保証について、保証契約を締結する際や金融機関等の債権者が保証履行を求める際における中小企業(債務者)・保証人・債権者の自主的なルールとして、経営者保証に関するガイドライン研究会(全国銀行協会、日本商工会議所が事務局)が定めたもの

■ 地域の活性化に関する取組み状況

●各自治体との包括連携協定(締結日順)

郡山市　古殿町　白河市　田村市

県や市町村、商工会議所等とのリレーションを強化し、情報共有を図るとともに、当行が持つ知見等を活かした取組みを実施しております。また、一層の地域活性化に向けて各自治体と包括連携協定を締結しております。

●大学との連携協力協定(締結日順)

福島大学　会津大学　日本大学工学部

福島県内の大学と連携協定を締結し、それぞれが保有している研究シーズ、金融技術・各種情報及びそれらのノウハウ等を積極的に活用することにより、地域の産学連携を促進し、地域社会の発展と地域産業の振興を目指しております。

人材活躍の推進活動

■ 若手活躍に向けた取組み

一人ひとりが「金融のプロ」を目指し、段階的にステージをランクアップしていくキャリア形成のための独自の能力開発制度「人材育成プログラム」を策定しております。入行から３年目までは、ベースとなる融資・預金・預り資産業務の基礎研修を中心に行い、４年目以降はそれぞれの専門分野に合わせた研修を実施しております。

■ シニア人材活躍への取組み

シニア人材が豊富な知見や能力を最大限に活かして活躍できる職場づくりを進めています。シニア人材の確保、活躍を促進するため、再雇用職員の部店長登用や専門職人材に対するインセンティブ制度の拡充に取り組んでまいります。

■ 女性活躍に向けた取組み、ワークライフバランス

●将来的な女性役員、女性管理職の養成に向けて、入行後一定期間のジョブローテーションを体系化し、男女を問わず適性に見合ったキャリア形成に取り組んでおり、活躍している女性支店長のランクアップや女性管理職の登用を含めた積極的な登用を実施しております。

◇管理職(支店長代理職以上)に占める2021年7月5日現在の女性の割合　16.3%(2016年 9.4%)

●仕事と家庭を両立できる環境整備を目指し、従業員の子育てを支援するための時短勤務の推進や、出産・子育てを経験した女性が安心して就業を継続できるよう、新任管理職研修会などの研修会で、ワークライフバランスやダイバーシティマネジメントに関する意識を啓蒙する活動を実施しております。

●配偶者出産休暇の完全取得の推進

男性の子育て目的休暇の取得推進のため、社内掲示板等で社員に周知し、休暇未取得者に対する取得促進を実施しております。

■ 職員の健康づくりに向けた取組み

●長時間労働の削減

働き方の意識改革、心身の健康維持に向けて、定時で各自のパソコンを一斉にシャットダウンする仕組みを導入し、適正な時間外の管理を行っております。

●通年ノーネクタイの実施

例年夏季の「クールビズ」を実施しておりますが、地球温暖化防止への継続的な取組みに加え、個性を重視した働きやすい職場環境づくりを目的として、2020年10月より通年ノーネクタイを実施しております。

●全面禁煙の遵守

役職員の健康増進及び受動喫煙防止徹底のため、当行グループ内全ての建物・敷地内及び業務車両内において完全禁煙を実施しております。